

# 名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第4週(2018年1月22日~1月28日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2018年1月31日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

## ◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の39.5人から39.0人になった。
- 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、前週の3.6人から3.7人になった。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の1.1人から1.3人になった。
- RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.3人に増加した。

〔1類~5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第4週	2類	結核	8	<ul style="list-style-type: none"><li>• 男性、83歳、肺結核</li><li>• 男性、34歳、肺結核</li><li>• 女性、82歳、肺結核</li><li>• 男性、91歳、肺結核</li><li>• 男性、23歳、肺結核及び結核性胸膜炎</li><li>• 女性、46歳、無症状病原体保有者</li><li>• 男性、25歳、無症状病原体保有者</li><li>• 男性、77歳、無症状病原体保有者</li></ul>
2018年 第4週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"><li>• 男性、21歳、早期顕症梅毒(1期)</li><li>• 女性、21歳、無症状病原体保有者</li></ul>
2018年 第4週	5類	百日咳	1	<ul style="list-style-type: none"><li>• 女性、10歳、抗体の検出による、感染地域：名古屋市</li></ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018 年 第 3 週	2 類	結核	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性、66 歳、肺結核</li> <li>女性、47 歳、無症状病原体保有者</li> </ul>
2018 年 第 3 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性、67 歳、菌検出検体：血液、菌種：<i>E.cloacae</i>、感染経路：抗生剤継続使用による耐性</li> </ul>
2018 年 第 3 週	5 類	後天性免疫不全症候群	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性、45 歳、AIDS、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：タイ</li> <li>男性、23 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内</li> </ul>
2018 年 第 2 週	5 類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性、52 歳、晩期顕症梅毒</li> </ul>
2017 年 第 51 週	5 類	後天性免疫不全症候群	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性、25 歳、AIDS、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：国内</li> </ul>
2017 年 第 49 週	5 類	後天性免疫不全症候群	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性、34 歳、AIDS、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内</li> </ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	34(8)[0][0] 【0】
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る)	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0

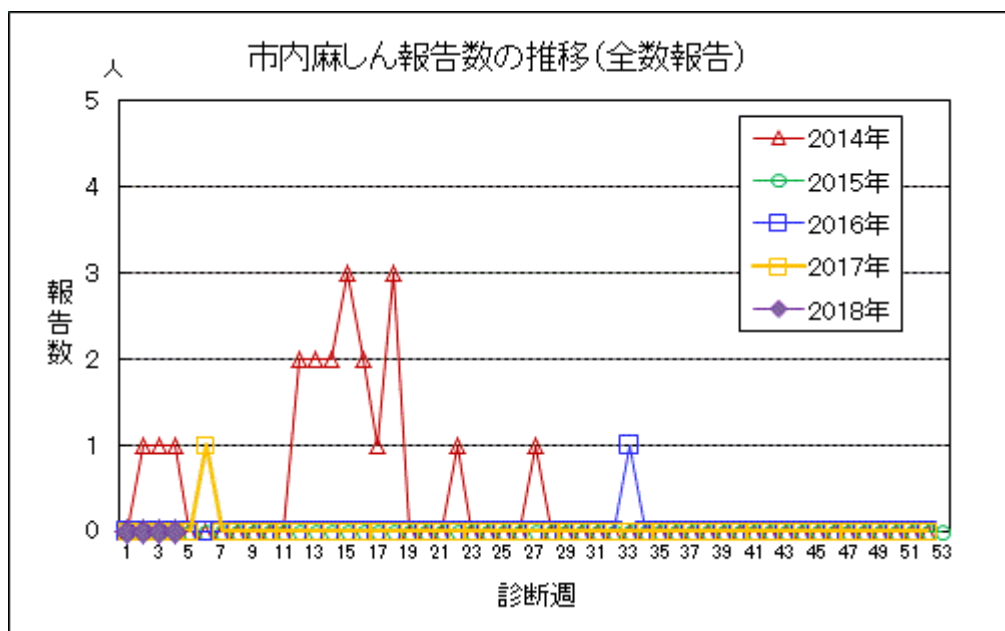
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0 (0)
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	レジオネラ症	3
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	2
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	4 (2) (0) 【0】
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	11
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5 類感染症	梅毒	12 (3)
5 類感染症	百日咳	3

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、( ) 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[ ] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑いの死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

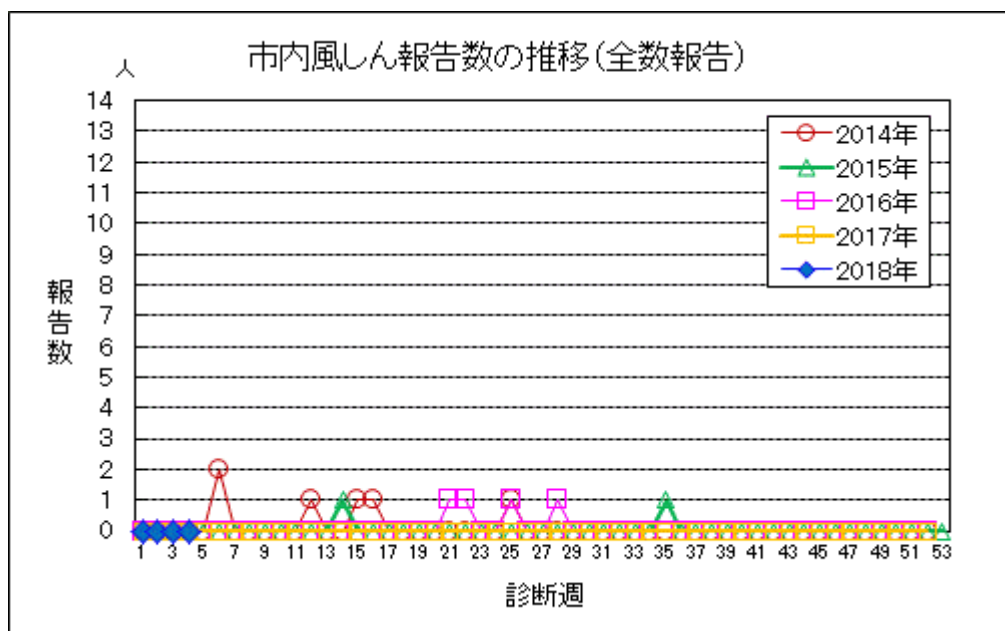
〔名古屋市の麻しん報告数〕



〔愛知県麻しん患者調査事業について〕

平成20年1月1日から、麻しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>)をご覧ください。

〔名古屋市の風しん報告数〕



〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザA 12名インフルエンザB 20名	定点医療機関（東区）
インフルエンザA型：21名、インフルエンザB型：23名。 1名A型とB型同時感染。	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型13人・インフルエンザB型20名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型8人・インフルエンザB型27名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型46人・インフルエンザB型33人・ 臨床診断2人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型：9名、B型：16名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：15名、B型：11名	定点医療機関（中区）

インフルエンザA型：7名 B型：12名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：8件、インフルエンザB型：13件	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：15件、インフルエンザB型：9件	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：12件、インフルエンザB型：18件、不明：6件	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型 6人、インフルエンザB型 4人	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：10名 ・ インフルエンザB型：6名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：21名 ・ インフルエンザB型：19名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型6名、インフルエンザB型25名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型12名、インフルエンザB型2名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、A型8名・B型18名です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、A型(男性60名 女性54名) B型(男性1名)です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、A型5名・B型32名です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型 28名 インフルエンザB型 38名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型男性3名女性2名 インフルエンザB型男性7名女性6名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型25% B型75%	定点医療機関（緑区）

合計 73 名 A 型 27 名 B 型 46 名	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型3人、インフルエンザB型14人	定点医療機関（天白区）
インフルエンザA型27人、B型50人、他臨床診断で型不明約10人	定点医療機関（天白区）

◆2018年第4週 患者報告数（疾病保健所別）、定点あたり患者報告数（疾病保健所別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2018年第4週（2018年1月22日～1月28日）

疾患 \ 保健所	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	213	161	149	203	224	71	125	90	121	166	231	205	274	112	167	220	2732	1.0	1.2
○RSウイルス感染症	1		2	7	2					1		3	1		2		19	3.2	1.0
○咽頭結膜熱	3	1	2	2								1			3		12	0.9	0.9
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3	4	2	14				4		17	13	14	3	7	1	90	1.1	1.1
○感染性胃腸炎	21	6	15	26	15	13	18		2	2	48	13	19	14	16	30	258	1.0	0.7
○水痘	2			3						1	1		3				10	1.0	0.7
○手足口病																	0	0.0	0.0
○伝染性紅斑			1														1	0.5	0.1
○突発性発疹	1		1	1	1								2			1	7	0.6	0.8
○ヘルパンギーナ																	0	0.0	0.0
○流行性耳下腺炎				1							1		1			1	4	0.6	0.5
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		0.0
計	249	171	174	245	256	84	143	90	127	170	298	235	314	129	195	253	3133		

\*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2018年第4週（2018年1月22日～1月28日）

疾患 \ 保健所	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	42.6	40.3	29.8	50.8	44.8	17.8	25.0	18.0	30.3	41.5	57.8	51.3	54.8	28.0	41.8	55.0	39.0
RSウイルス感染症	0.2		0.4	1.8	0.4					0.3			0.8	0.2	0.5		0.3
咽頭結膜熱	0.6	0.3	0.4	0.5									0.3		0.8		0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.6	0.8	0.8	0.5	2.8				1.0		4.3	3.3	2.8	0.8	1.8	0.3	1.3
感染性胃腸炎	4.2	1.5	3.0	6.5	3.0	3.3	3.6		0.5	0.5	12.0	3.3	3.8	3.5	4.0	7.5	3.7
水痘	0.4			0.8						0.3	0.3		0.6				0.1
手足口病																	
伝染性紅斑			0.2														0.0
突発性発疹	0.2		0.2	0.3	0.2								0.4			0.3	0.1
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎				0.3							0.3		0.2			0.3	0.1
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。



年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第4週(2018年1月22日~1月28日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	6	22	73	74	121	177	197	200	172	148	140	352	111	140	165	233	144	123	74	60

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	7	4	3	3		1			1					
咽頭結膜熱			5		3	2						1	1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1	9	13	10	12	8	1	10	13	1	11
感染性胃腸炎	2	8	36	22	16	17	14	8	9	4	8	23	16	75
水痘			1	2		2	1		1	1		2		
手足口病														
伝染性紅斑									1					
突発性発しん		1	5		1									
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎					1	1						1	1	

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎																				

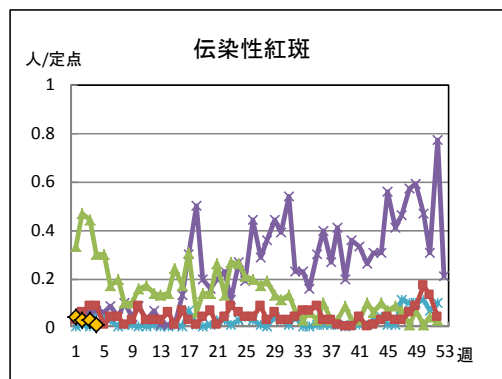
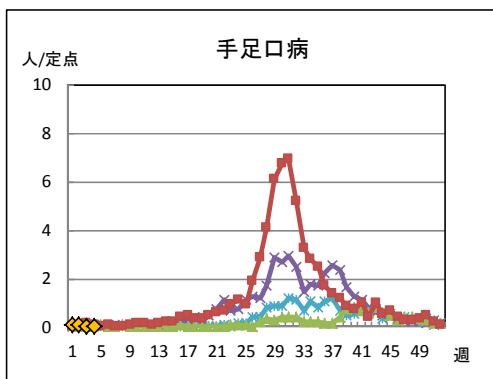
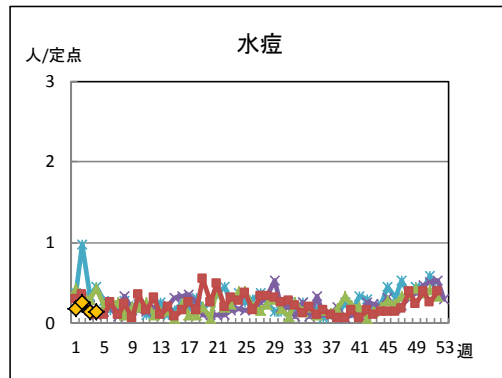
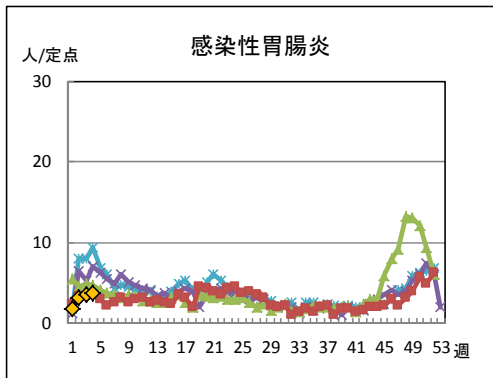
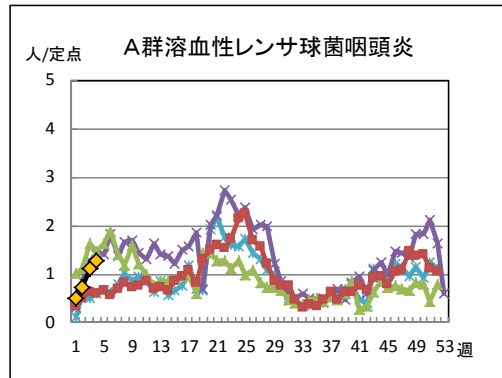
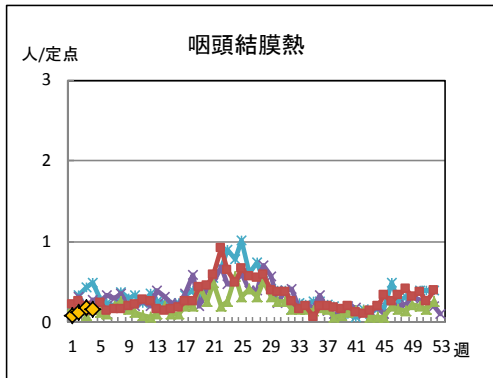
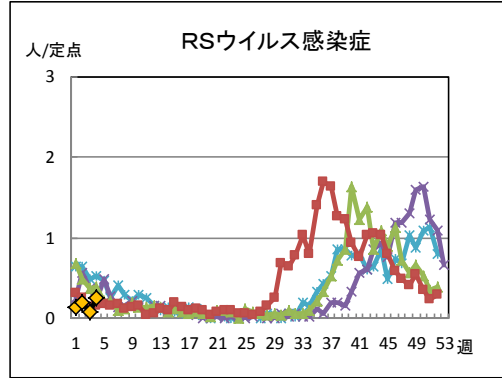
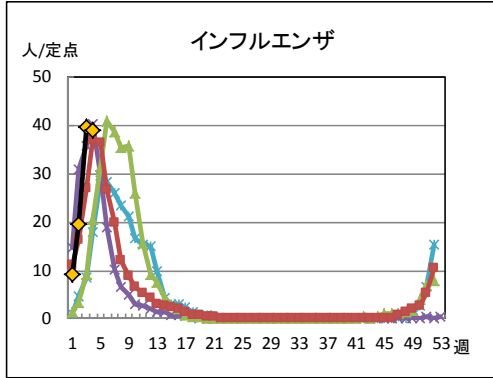
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2018年第4週:4件】 【2017/2018シーズン累計数:18件】

- 男性、79歳
- 女性、90歳
- 男性、89歳
- 男性、0歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第4週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第4週まで

